SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 食品産業

大分県

株式会社 マルミヤストア

大分県佐伯市に本社を置く株式会社マルミヤストアは、九州４県に41店舗の食品スーパーマーケットを展開し、変化を続ける社会環境やライフスタイルの多様化に素早く対応できる店づくりに取り組んでいます。

令和元年、同社は新たに「商品を通じて消費者に貢献する」ことを取組方針に掲げ、ビジネスの仕組みを活用した持続可能な社会づくりの取組を始めました。

スーパーマーケットだからこそできること

株式会社マルミヤストアの店舗では、生鮮食品を取り扱うというスーパーマーケットの性質上、多くの食品廃棄物や、容器廃棄物が発生します。

同社は、食品スーパーマーケット・チェーンの使命として、ビジネスの仕組みを活用した環境問題の解決を目指して、廃棄物の再資源化に取り組んでいます。

1 食品リサイクル・ループの取組

同社は、平成30年の一年間で店舗から排出された食品廃棄物1638トンのうち、377トンを大分県内の資源再生事業者と連携して堆肥化しました。

再資源化した堆肥については、令和元年から竹田市の卯野農場に運搬し、スイートコーン「すごあまこーん※1」の生産に使用。収穫したものを店舗で販売することで、食品リサイクル・ループの構築を実現しました。

▲ リサイクル堆肥

▲ 卯野農場のスイートコーン畑

同社は、スイートコーンの品質が従来のものと遜色がなく、好評だったことから、今後は、ぶどうやカボスでも同様の取組を行い、ループの輪を拡大していく予定としています。

※1：竹田市菅生(すごう)地区の農業者10名で組織する「さとうきびの郷すごう」が生産するスイートコーンの呼称。糖度は18度を超える。

また、大分県内の低炭素社会の構築に向けた地球温暖化防止に関する活動事例を表彰する「おおいた低炭素杯2019」において、地域内で食品廃棄物を資源として循環させ、食品ロスの低減に取り組んだことが高く評価され、大分県知事賞を受賞しました。

対応するSDGs目標

2 容器包装リサイクル×福祉支援

スイートコーンに続く「地域との協業による人や環境にやさしい商品」開発の第2弾として、同社は、熊本市の社会福祉法人 勝緑会 明和学園※2と連携し、熊本市内の2店舗（秋津店・東町店）で回収された牛乳パックを手すき和紙として再資源化。封筒やポチ袋を製作する取組を開始しました。

▼ 牛乳パックから作ったポチ袋

製作した封筒等については、令和元年12月から牛乳パックを回収した同2店舗で販売しており、スーパーマーケット、福祉支援施設、消費者の3者による容器包装リサイクルを通じた福祉支援の取組として注目されています。

対応するSDGs目標

※2：障がい者が、地域社会との連携の中で生きる喜びを感じながら豊かな人生を送れるよう、工芸品の制作や販売を通じたサポートを行っている。

環境への取組を子ども達の教育に活かす

昭和47年に大分県佐伯市で創業した同社は、地域に密着した食品小売事業者として、大分県南地域を中心に店舗を展開してきました。

創業以来、事業を通じてそれぞれの地域の産業を支えてきた同社は、新たに開始した環境への取組を通じて、地域の子ども達の教育に貢献しています。

3 食品リサイクル・ループ×食育

令和元年7月、スイートコーンの収穫期を向かえた卯野農場において、同社主催の食育イベントが開催されました。

イベントには、大分県内から19組38名の親子が集まり、収穫体験や料理体験を通じて食品リサイクル・ループについて学び、その後の昼食会では、日本の食料自給率や食品ロスの現状をクイズ形式で紹介する等、子ども達が食料問題や環境問題を楽しく学べる工夫がなされました。

▼ 収穫体験での一コマ

また、この「食品リサイクル・ループ×食育」の取組は、生産者と消費者を直接結ぶことを可能としました。

同農場にとっては、消費者の顔を直接見られるだけでなく、自信を持って生産した作物の食べ方や安全性を直接伝えられるようになったことで、生産意欲を向上させる良い機会となっています。

対応するSDGs目標

4 レジ袋の削減×環境教育

大分県では、環境保全活動の一環として、県、消費者団体、事業所団体の三者が協定を結び、平成21年から、レジ袋の無料配布を中止する取組を進めています。

同社も、当初からこの取組に参加しており、全店舗でレジ袋の無料配布を中止し、コスト削減により得られた収益の一部を自治体に寄付しています。

令和元年は、中津市に「環境保全活動資金」を、大分市には環境関連図書※3の購入費を寄付しました。

資源の節約、ゴミの減量によって地球温暖化防止に貢献したいと始めた取組は、自治体の環境保全活動を後押しし、地域の子ども達の教育にも役立っています。

▲ 購入した図書（大分市）

※3：大分市は、子ども達が環境問題について考える「環境ブック読み聞かせ運動」を実施している。

対応するSDGs目標

スーパー・マーケットは、毎日当たり前のように消費者が訪れる場所です。

同社は、消費者が当たり前に商品を選び購入していくことを、「当たり前」ではなく「ありがたい」と思える気持ちを、従業員全員が持ち続けられる会社づくりを心がけています。

そして、感謝の気持ちを「商品を通じて消費者に貢献する」という取組方針に込め、地域貢献を強化し、持続可能な社会づくりに取り組んでいくこととしています。

企業概要

【社　　名】株式会社マルミヤストア
【創　　業】昭和47年(1972年)
【事業内容】生鮮食品主体の
　　スーパーマーケットの経営
【住　　所】大分県佐伯市野岡町二丁目1-10
【電話番号】0972-23-8111(代表)
【H　　P】http://www.marumiya-st.jp/

(株)マルミヤストアのSDGsに対する取組

※ 紙面の都合で紹介できなかったトピックス
・ジョブシャドウウイングの取組
・奨学金返済支援制度の導入　　等